

## ご挨拶

第72回近畿学校保健学会  
学会長 古川 恵美  
(兵庫県立大学)

第72回近畿学校保健学会を7月12日に開催させていただくことになりました。会場は、事務局長の細川愛美先生の勤務校の、爽やかな潮風がそよぐ神戸女子大学ポートアイランドキャンパスです。ポートアイランドは、神戸港内に作られた日本初の都市機能を持つ人工島で、観光・ビジネス・住宅・公園などの都市生活に必要な機能が揃い、複数の大学や研究施設がある静かで快適な環境です。ここで本学会を開催させていただくにあたり、皆様に歓迎と感謝のご挨拶を申し上げます。

近畿学校保健学会の目的は、学校保健に関する研究を行い、学校教育に寄与することです。このたび学会長を拝命し、学校保健における自身の歴史について振り返りました。養護教諭として正規採用された平成3年にLD(学習障害)と診断された児童と出会い、それ以降ずっと発達障害のある幼児児童生徒への支援に取り組んできました。養護教諭を退職し、「通常学級に在籍する発達障害のある児童生徒への支援における養護教諭の役割」で2011年3月に学位を取得しました。その数日前に東日本大震災が起き、阪神淡路大震災の被災者でもある私は、ご縁をたぐりました。そして、2011年12月から宮城県気仙沼地域の高等学校養護教諭や特別支援学校の地域コーディネーター、保健師等と協働して毎月活動(発達支援やコンサルテーション)ができるようになりました。現在でも現地の教員等が希望される内容に合わせて活動しています。また、学生時代から里親家庭や特別養子縁組家庭のボランティアを引き続き行ってきたことから、社会的養護に関する研究もすすめてきました。講演Ⅰと講演Ⅱの先生方はその研究仲間でもあります。このような背景から、活動仲間は多職種となり、私自身の研究は学校保健を取り巻く諸課題となっています。

この人とのつながり、研究のつながりを自分だけではなく、参加してくださる皆様に還元できたらと考え、今大会のテーマを「学校保健現場における教育と医療の多角的連携」としました。

講演Ⅰは、関西医科大学小児科学講座臨床教授 石崎優子先生に、「起立性調節障害(OD)治療の新しい展開」という最新の情報満載のご講演をお願いしています。講演Ⅱは、摂南大学看護学部教授(小児看護領域)池田友美先生に、「フィンランドの在外研究で学んだ『健康』」と題し、ヘルシンキ大学における在外研究について魅了される多くの写真と取り入れたご講演をお願いしています。

シンポジウムでは、本学会のテーマに迫るために、災害看護の専門家、東日本大震災で津波やその後の長期支援の経験者である養護教諭、神戸市で発達障害のある子どもを支える医師といった様々な立場からご提言いただき、フロアの皆様を交えて議論していきます。

今回の学会では使用しませんでした。兵庫県立大学看護学部のキャンパスは明石にあり、建築家の安藤忠雄氏が兵庫県立看護大学として設計した建築物です。安藤氏は兵庫県立看護大学創立5周年誌(1999年)で、「看護大の設計の機会を頂いてまず考えたのは、共に助け合うということをどう建築に反映していくかということだった」「これまで以上に人と人が福祉や行政といった枠組みを超えて、対話をし、共に支え合って生きていくことが大切になる」「設計では人と人との対話を引き出せるようにということを常に心掛けるようにした」などと述べておられます。この言葉を紡がれたのは30年以上前になりますが、なんて生き生きとした言葉なのでしょう。

最後になりましたが、本学会を開催するにあたりご支援・ご後援いただきました兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、兵庫県医師会、兵庫県歯科医師会、兵庫県薬剤師会、神戸市医師会、神戸市歯科医師会、神戸市薬剤師会の皆様、そして本学会の運営にご協賛、ご尽力いただきました諸団体の皆様方に厚く御礼申し上げます。

## 第 72 回近畿学校保健学会開催要項

【テ ー マ】 「学校保健現場における教育と医療の多角的連携」

【日 時】 2025 年 7 月 12 日（土）9：30～16：20

【会 場】 神戸女子大学ポートアイランドキャンパス F館3階, 2階  
〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-7-2  
<https://www.yg.kobe-wu.ac.jp/wu/campuslife/campus/pi.html>

時 刻	事 項	場 所
9:30～	受付開始（F 館 1 階エレベーターホール）	F 館 1 階
10:00～11:15	一般演題発表 A 会場【教室 F310】 B 会場【教室 F301】 C 会場【教室 F302】 D 会場【教室 F210】	F 館【310・301・302・210】
11:20～12:00	講演 I 「起立性調節障害（OD）治療の新しい展開」 講師 関西医科大学小児科学講座 診療教授 石崎優子 座長 前法政大学 教授 鬼頭英明	F 館【304】
12:00～12:50	昼休憩	
12:50～13:30	総会・評議員会	F 館【304】
13:40～14:30	講演 II 「フィンランドの在外研究で学んだ『健康』」 講師 摂南大学看護学部 教授 池田友美 座長 兵庫教育大学大学院 教授 岡本 希	F 館【304】
14:30～14:40	休 憩	
14:40～16:00	シンポジウム 「こどもの発達・成長を支える教育と医療の連携 ～災害・障害・家族への支援から考える～」 コーディネーター 兵庫県立大学 教授 古川恵美 シンポジスト ・災害看護の視点から 兵庫県立大学地域ケア開発研究所 教授 増野園恵 ・養護教諭の視点から 宮城県本吉響高等学校 養護教諭 松本敦子 ・小児科医の視点から みなとのこども診療所・児童デイ 院長 今西宏之 ・指定討論者 兵庫県教育委員会事務局体育保健課 主任指導主事兼主幹 平澤郁子	F 館【304】
16:00～16:20	表彰式・閉会式	F 館【304】
17:00～19:00	懇親会（情報交換会）	

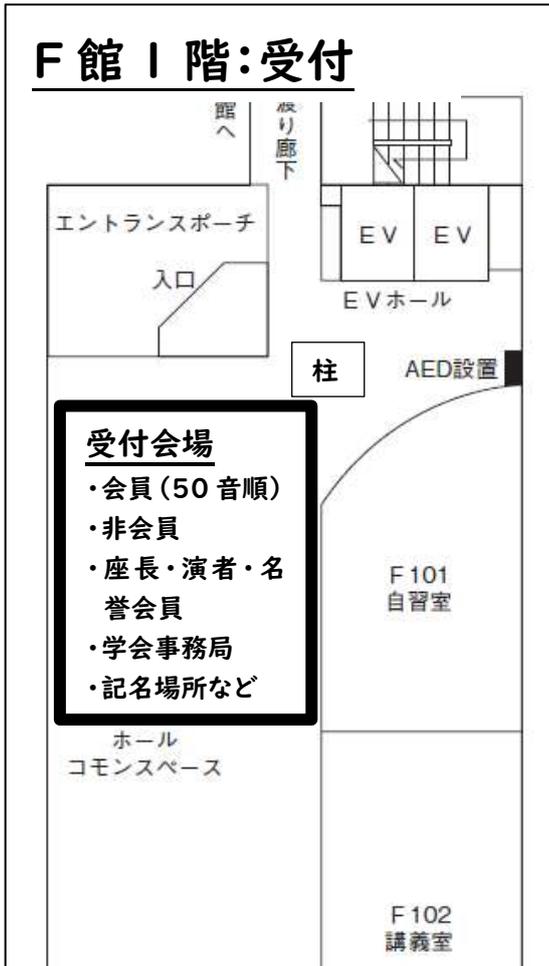
# 受付(F館1F)・主会場(F館3F)

## 受付：F館1階エレベーターホール

当初の「B館入口エントランスホール」を変更

- 記名場所：EVホール横のコモンスペースを予定
- 午後の受付：F館3階エレベーターホール

## F館1階：受付



## 主会場(右図)

- 一般演題  
A:F310, B:F301, C:F302, D:F210 (2階)
- 講演, シンポジウム, 総会・評議委員会等:F304
- 展示, 休憩:F308, F309, コミュニティスペース
- 昼食場所  
B館1階食堂, 2階食堂(F館2階と連結)  
F館1階コモンスペース全域

**禁** 各教室での食事は禁止です! 食堂で!

## 主会場: F館3階

## D会場(F210): 2階へ



## 参加受付等のご案内

### ◆受付時間・場所

2025年7月12日(土) 9:30～

神戸女子大学 F館1階エレベーターホール

### ◆受付等について

#### ① 学会正会員

- ・参加費 1,000 円をお支払いの上、名札と講演集をお受け取りください。
- ・2025 年度年会費未納の方は、年会費 3,000 円を学会本部事務局にお納めください。年会費の納入がない場合、参加費が当日会員と同じく 2,000 円となりますのでご注意ください。

#### ② 当日会員

参加費 2,000 円をお支払いの上、名札と講演集をお受け取りください。

#### ③ 当日学生会員 (参加費：大学院生 1,000 円, 学部学生 500 円)

大学院生, 学部学生は学生証を提示ください。提示のない場合、当日会員扱いになります。

#### ④ 新規入会希望者

受付で入会申込フォームを受け取り、必要事項をご入力の上、年会費 3,000 円を学会本部事務局にお納めください。

#### ⑤ 昼食

参加申込時にお弁当 (飲み物付 1,000 円) を申し込まれた方は、代金と引き換えに昼食券をお受け取りください。

当日、食堂は開店しておりますが軽食のみの販売となります。

会場周辺の大学の食堂、みなとじま駅近くのコンビニをご利用いただけます。

#### ⑥ 懇親会 (情報交換会)

参加申込時に懇親会 (会費 5,500 円) を申し込まれた方は、懇親会会場にてお支払いください。

会場：Seafood dining 1932/センチュリオンホテル&スパヴィンテージ神戸 9F

(神戸女子大学より徒歩 10 分, ポートライナー中公園より徒歩 5 分)

※ 名札には氏名・所属をご自身でご記入の上、会場では必ずご着用ください。

### ◆一般演題発表者の方へ

- ① 前演者の講演が始まると同時に、各会場前方の次演者席にご着席ください。
- ② 発表は、1 演題につき、発表 7 分、討論 4 分です。時間を厳守してください。
- ③ 学会当日は、発表用のコンピューター(PC)を準備いたします。
- ④ 発表用 PC は、Windows 11 で、アプリケーションは Microsoft PowerPoint 2019 になります。発表用ファイルは、2025年7月4日(金)17時までに学会事務局にメールでお送りください。
- ⑤ PC を持ち込んで発表される場合、プロジェクターの接続コネクタは HDMI です。PC のモニター出力端子の形状をご確認のうえ、必要に応じて変換コネクタ(ケーブル)等をご用意ください。
- ⑥ 動画の使用は、原則としてお控えください (必要な場合は事務局で相談に応じますので、事前にご連絡ください)。
- ⑦ 資料を配布される場合は 50 部程度ご用意ください。

### ◆座長の先生方へ

- ① 前座長の登壇後、前方の次座長席にご着席ください。
- ② 受け持ち時間の進行は一任しますが、1 題あたり 11 分以内でご進行いただきますようお願いし

ます。(6分で1鈴, 7分で2鈴, 10分で3鈴の予定)

- ③ 慣例により, 後日「学会通信」用の座長のまとめ(1演題 250字程度)を年次学会事務局までご提出いただきますようお願いいたします。締切は 2025年8月9日(土)です。

◆当日の学会開催中の連絡先

第72回近畿学校保健学会事務局 E-mail : kinki.sha72th@gmail.com

◆その他

- ・ 学会開催時間内は, 携帯電話などの通信機器類はマナーモードにするか電源をお切りください。
- ・ 会場は敷地内を含めて禁煙です。ご協力をお願いします。
- ・ 手荷物預かり(クローク)のサービスは行いません。

◆会場までのアクセス

<JR「三ノ宮」・阪急「神戸三宮」・阪神「三宮」神戸市営地下鉄「三宮」駅からのアクセス>

ポートライナー

「三ノ宮駅・三宮駅」からは, ポートライナー神戸空港・北埠頭方面行き等をご利用いただき, みなとじま駅(約10分)で下車し, 西へ徒歩約5分。全便が, みなとじま駅に停車します。

神姫バス

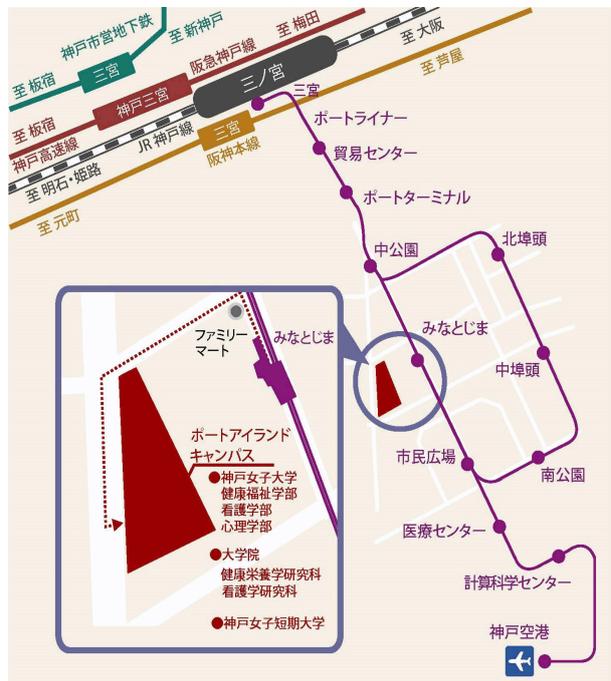
三宮駅前・神戸駅南口から神戸女子大学前で下車し, 徒歩約1分。

<神戸空港からのアクセス>

ポートライナー

神戸空港駅からポートライナーの三宮行きをご利用いただき, みなとじま駅(約9分)で下車し, 西へ徒歩約5分。

神戸女子大学(ポートアイランドキャンパス)  
F館 3階



## 一般演題発表プログラム

### A 会場

<メンタルヘルス> 10:00~10:36 座長 中村晴信(関西医科大学)

A-1 コロナ禍における大学生の自己効力感と自意識および疲労感について

○竹端佑介(摂南大学), 高山昌子(大阪国際大学), 後和美朝(摂南大学)

A-2 メンタルヘルスの関連要因としての感染症対応における負担感の検討

○宮城十子(兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科), 岡本 希(兵庫教育大学大学院学校教育研究科)

A-3 学校における摂食障害の現状及び対策の一考察

○松尾 純(兵庫教育大学大学院), 服部紀代(兵庫大学)

<生活習慣> 10:36~11:12 座長 藤原 寛(元京都府立医科大学)

A-4 A高等学校における睡眠の改善に対する取り組み(第一報)

○田城 麻紀(和歌山県立田辺高等学校)

A-5 朝食に対する態度、起床時間、および朝食への食欲と朝食の頻度との関連

○中村晴信(関西医科大学医学部衛生・公衆衛生学講座), 小原久未子(京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学), 桃井克将(京都女子大学心理共生学部), 間瀬知紀(京都女子大学発達教育学部), 藤田裕規(関西医科大学医学部衛生・公衆衛生学講座), 甲田勝康(関西医科大学衛生・公衆衛生学部)

A-6 就学時健診と5歳児健診~マニュアルからの動向検討~

○寺川えり子(四天王寺大学看護学部), 古川恵美(兵庫県立大学看護学部)

### B 会場

<養護教諭・保健室経営> 10:00~10:36 座長 大川尚子(京都女子大学)

B-1 養護教諭のICT活用の実態とスキルアップ研修の効果

○山本千津子(西宮市立鳴尾南中学校), 清水 悠(西宮市立広田小学校)

B-2 養護教諭によるAI回答の実用性評価に関する探索的検討—パイロットスタディからの示唆—

○山村和恵(立命館守山中学校・高等学校), 戸簾隼人(立命館大学 R-GIRO 客員研究員)

B-3 荷見秋次郎の養護観—戦中と戦後—

○高橋裕子(天理大学体育学部)

<健康管理・組織活動> 10:36~11:12 座長 森脇裕美子(姫路獨協大学看護学部)

B-4 汲田克夫における「健康管理能力」の史的展開と構造

○松本圭朗(近畿大学)

B-5 大学生におけるチーム学校の認識 —養成課程間の比較—

○住吉由加(兵庫教育大学大学院), 鳥取伸彬(兵庫教育大学大学院)

B-6 保健主事の研修のあり方に関する一考察 —研修後の保健主事の意識の変化を中心に—

○藤原靖浩(関西福祉科学大学)

<リスク・安全> 10:00~10:36 座長 西岡伸紀(京都女子大学)

C-1 学校管理下における障害事故の実態 1989年~2023年の事例と重度障害について

○長谷川ちゆ子(元湊川短期大学)

C-2 大学生が参画する「いのちと安全確保の共育プログラム」の構築を目指して

○八木利津子(桃山学院大学)

C-3 妊娠時低体重リスクの認知度に着目した小中高校における保健教育の現状と課題

○杉田彩恵(京都女子大学), 桃井克将(京都女子大学)

<災害・緊急時対応> 10:36~11:12 座長 八木利津子(桃山学院大学)

C-4 教職員の災害への意識について

○濱口雅代(兵庫教育大学大学院学校教育研究科), 岡本 希(兵庫教育大学大学院学校教育研究科)

C-5 被災経験のある学校管理職が養護教諭に期待する災害時の連携

○榊原 未紀(兵庫県立姫路西高等学校), 古川恵美(兵庫県立大学看護学部)

C-6 学校教職員の緊急時対応における知識と技術力の定着について

○十川真由美(芦屋学園中学高等学校)

## D 会場

### <虐待・マイノリティ> 10:00~10:36 座長 中村朋子（兵庫大学）

#### D-1 オウルンキュラ・家族リハビリセンター視察を通してみえる家族に焦点を当てた支援

○木原彩子（大阪公立大学生活科学研究科博士後期課程），中村 恵（畿央大学），松田登紀（奈良女子大学附属幼稚園），榊原未紀（兵庫県立姫路西高等学校），古川恵美（兵庫県立大学），池田友美（摂南大学），石崎優子（関西医科大学 小児科），下村有子（通訳 Kuniko JPN），長濱輝代（大阪公立大学）

#### D-2 高校生を対象とした児童虐待予防教育の意義

○田吹和美（大阪府立布施高等学校）

#### D-3 性的マイノリティ当事者の理解を深めるための効果的な取り組みについて

○藤原昌子（前 西宮市立西宮東高等学校）

### <障害・支援> 10:36~11:12 座長 高田恵美子（畿央大学）

#### D-4 視覚障害女性の月経対処における探索的研究—半構造化インタビューを通じた経験の分析

○鶴岡尚子（東京医療保健大学和歌山看護学部）

#### D-5 特別支援学校に通う学童期の知的障害児の性に関する行動に向き合う当事者の経験—特別支援学校教員の語りから—

○波田野希美（四天王寺大学看護学部），吉村知容（四天王寺大学教育学部）

#### D-6 学生の保健室ボランティア活動における教育的効果に関する一考察

○酒井隆子（丹波市立青垣中学校），佐々木美奈（横浜市立山王台小学校），島田郁実（横浜市立下永谷小学校）